

阿蘇山の噴火状況等について(第4報)

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省 9月14日 10:10 注意体制

九州地方整備局 9月14日 10:10 注意体制 九州運輸局 9月14日 10:10 注意体制

国土地理院 9月14日 10:10 注意体制 気象庁本庁 9月14日 10:10 警戒体制

国土技術政策総合研究所 9月14日 10:10 注意体制

2. 噴火の概要

- 中岳第一火口では、14日09時43分に噴火が発生し、現在も継続中
- 噴火に伴い、火口から弾道を描いて飛散する大きな噴石を確認。噴煙は火口縁上2000mまで上昇。
- 噴火による変色域が、中岳第一火口の周辺に認められ、北側で1km程度、南東側で1.3km程度まで確認。これらの領域は火砕流の痕跡の可能性
- 現地調査及び聞き取り調査によると、火口より西側の熊本県北部から福岡県の一部で降灰を確認
- 火山性微動の振幅は、11日から概ね大きい状態となっていたが、14日11時頃から小さい状態
- さらに、15日14時36分には、灰白色の噴煙が火口縁上1200mまで上がっていることを確認

3. 国土交通省の対応

- 国土交通省として、引き続き被害の情報の収集・把握に努める。

○リエゾン

- ・九州地方整備局より熊本県庁と阿蘇火山博物館(※)にリエゾンのべ7人・日派遣(9/14～15)
- ※阿蘇火山防災会議協議会

(単位:人)

月日	9		合計
	14	15	
熊本県	2	2	4
阿蘇火山博物館(阿蘇市)	2	1	3
合計	4	3	7

○防災ヘリコプターによる状況調査

- ・九州地整防災ヘリ「はるかぜ号」により、阿蘇山周辺の状況調査を実施(9/14)。
- 明瞭な降灰範囲は、中岳第一火口周辺の約1kmの範囲に限られることを確認。

○路面清掃車

- ・熊本県の要請を受け、九州地方整備局の路面清掃車2台を阿蘇市、南阿蘇村へ派遣(9/15)
- ・熊本河川国道事務所に3台待機(9/16)

4. 気象庁の対応

- 噴火速報を公表(9月14日 09:50)
- 噴火警報(火口周辺)を公表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げ(9月14日 10:10)
- 降灰予報(詳細)を公表(9月14日 10:35、15:16、9月15日15:05)
- 記者会見(9月14日 11:30)
- 火山活動解説資料を公表(9月14日 13:20、21:20)
- 火山の状況に関する臨時の解説情報を公表(9月14日 12:20)
- 火山の状況に関する解説情報を公表(9月14日 17:10、9月15日 10:00、9月15日 16:00)
- 機動調査班(JMA-MOT)が九州地整ヘリに搭乗し上空からの観測を実施(9月14日)
- 機動観測 地上からの観測を実施(9月14日～15日)
- 熊本県へ職員派遣(9月14日)
- 阿蘇火山防災協議会現地対策本部へ職員派遣(9月14日～)

5. 国土地理院の対応

- 阿蘇山の火山土地条件図および災害対策図等を関係機関へ提供(9月14日)
- 人工衛星(だいち2号)データを用いて阿蘇山の地表の状態の変化を解析(9月14日)
- 阿蘇山の噴火周辺地域の空中写真を撮影(9月14日)
- 人工衛星(だいち2号)データを用いて阿蘇山の地表の状態の変化を公開(9月15日)
- 阿蘇山の噴火周辺地域の空中写真を公開(9月15日)

6. 所管施設等の状況

○道路関係

・通行止め区間

熊本県道 阿蘇公園下野線(全線)

熊本県道 阿蘇吉田線(南阿蘇村長野～南阿蘇村中松)

○鉄道関係

・阿蘇ロープウェイ 運休中(平成26年8月～)、職員10名の避難完了

・仙酔峡ロープウェイ 休止中(平成23年4月～、設備があるのみで営業していない)

○自動車関係

・産交バス 阿蘇～阿蘇山西駅 1路線 途中の草千里バス停で折り返し運行

阿蘇定期観光バス 1路線 途中の草千里バス停で折り返し運行

・九州産交バス 熊本～阿蘇山西駅～大分・別府 1路線阿蘇山西駅を迂回して運行

○航空関係

・空港施設被害なし

・運航状況

欠航便情報なし

○観光関係

・4km圏内に宿泊施設なし

○河川、土砂災害、官庁施設、公園、宅地、下水道

・現時点で被害情報なし

問合先:水管理・国土保全局防災課災害対策室 池本
代 表:03-5253-8111 内線35-822
直 通:03-5253-8461